

◎ 貸借対照表の共通様式(一年ごと)

(2023年 3月 31日現在)(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	374,449,966	流 動 負 債	72,804,169
		固 定 負 債	86,394,000
		引 当 金	370,000
		負債合計	159,568,169
固 定 資 産	119,117,609	(資 本 の 部)	
有 形 固 定 資 産	97,924,309	資 本 金	20,000,000
無 形 固 定 資 産	193,300	資 本 剰 余 金	
投 資 そ の 他 の 資 産	21,000,000	利 益 剰 余 金	313,999,406
		土 地 再 評 価 差 額 金 等	
		資本合計	333,999,406
資産合計	493,567,575	負債・資本合計	493,567,575

◎ 損益計算書の共通様式(一年ごと)

(2022年 4月 1日から2023年 3月 31日まで)(単位円)

科 目	金 額
(経 常 損 益 の 部)	
営 業 利 益 (損 失)	33,619,551
営 業 外 利 益 (損 失)	27,395,799
経 常 利 益 (損 失)	61,015,350
(特 別 損 益 の 部)	
特 別 利 益 (損 失)	390,000
税引前当期純利益(純損失)	61,035,350
法人税その他の税の額	16,876,200
当 期 純 利 益 (純 損 失)	44,159,150
前 期 繰 越 利 益 (損 失) 等	269,840,256

## 個 別 注 記 表

自 令和 4 年 4 月 1 日  
至 令和 5 年 3 月 31 日

I. この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品はは最終仕入原価法を採用しています。

2. 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備、構築物は定額法を採用しています。

② 無形固定資産

定額法を採用しています。

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

② 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

III. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

343,422千円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当該事業年度の末日における発行済株式の数

40,000株

2. 当該事業年度の末日における自己株式の数

0株

上記の通りご報告申し上げます。

株式会社 佐々木事業所

代表取締役 時田 茂

# 株主資本等変動計算書

自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日 単位 円	株主資本				純資産の部
	資本金	利益剰余金		株主資本	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金		
当期首残高	20,000,000	269,840,256	269,840,256	289,840,256	289,840,256
当期変動額					
当期純損益金		44,159,150	44,159,150	44,159,150	44,159,150
当期変動額合計		44,159,150	44,159,150	44,159,150	44,159,150
当期末残高	20,000,000	313,999,406	313,999,406	333,999,406	333,999,406